



日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 3 年 1 2 月 1 9 日
Date of Application:

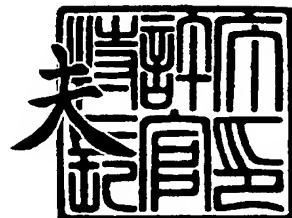
出 願 番 号 特 願 2 0 0 3 - 4 2 3 0 7 1
Application Number:
[ST. 10/C] : [J P 2 0 0 3 - 4 2 3 0 7 1]

出 願 人 井 尻 保 宏
Applicant(s):

2 0 0 4 年 1 月 9 日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

今 井 康 夫



出 証 番 号 出 証 特 2 0 0 3 - 3 1 1 0 3 5 1

【書類名】 特許願
【整理番号】 P03-C1901
【提出日】 平成15年12月19日
【あて先】 特許庁長官殿
【発明者】
 【住所又は居所】 大阪府豊中市寺内 1 - 4 - 2 8 - 2 0 3
 【氏名】 井尻 保宏
【特許出願人】
 【識別番号】 592036276
 【住所又は居所】 大阪府豊中市寺内 1 - 4 - 2 8 - 2 0 3
 【氏名又は名称】 井尻 保宏
【代理人】
 【識別番号】 100095522
 【弁理士】
 【氏名又は名称】 高良 尚志
【手数料の表示】
 【予納台帳番号】 002244
 【納付金額】 21,000円
【提出物件の目録】
 【物件名】 特許請求の範囲 1
 【物件名】 明細書 1
 【物件名】 図面 1
 【物件名】 要約書 1

【書類名】 特許請求の範囲**【請求項 1】**

地面に差し込んで自立させる脚部の上方に水平方向拡大部を備えた脚体に着脱可能に取り付けられるゴルフボール支持体であって、
ボール支持部を上端部に有し、そのボール支持部の下方に、前記脚体の水平方向拡大部を収容するための大寸法内部を有し、その大寸法内部の下方に、前記脚体における水平方向拡大部よりも下方に位置する下方部を挿通保持してその脚体の下方離脱を防止する小寸法内部を有し、前記大寸法内部の上部に、前記脚体の上方離脱を防止する離脱防止部を有してなり、
前記脚体における前記下方部が小寸法内部により保持され、前記水平方向拡大部が前記大寸法内部に収容されて前記離脱防止部により前記脚体の上方離脱が防止された状態で、脚体に取り付けられることを特徴とするゴルフボール支持体。

【請求項 2】

上記ボール支持部と離脱防止部と大寸法内部を備えた上部構造部と、上記小寸法内部を備えた下方保持部と、それらの上部構造部と下方保持部を上下連結する連結部を有してなり、
前記上部構造部における大寸法内部の下方側は、縮小されて下方開口部に形成され、前記小寸法内部は上方開口部を有し、
前記上部構造部の下方開口部と前記下方保持部の上方開口部の間に、その下方保持部の小寸法内部に上方開口部から上記脚体の脚部を挿通すると共に、前記上部構造部の下方開口部から大寸法内部に上記脚体の水平方向拡大部を挿入するための側方開放部を有する請求項 1 記載のゴルフボール支持体。

【請求項 3】

上記連結部が、上部構造部における下方開口部の全周の 3 分の 1 以下の幅の帯状をなし、上部構造部における下方開口部の外側部と下方保持部における上方開口部の外側部を上下に連結するものであり、前記上部構造部の下方開口部と前記下方保持部の上方開口部の間のうち前記連結部以外の部分が上記側方開放部を構成している請求項 2 記載のゴルフボール支持体。

【請求項 4】

上記連結部が弾性材料からなり、下方保持部の小寸法内部に上方開口部から上記脚体の脚部を挿通する際に連結部を弾性変形させて上部構造部を一時側方へ変位させることができるものである請求項 2 又は 3 記載のゴルフボール支持体。

【請求項 5】

上記上部構造部における少なくとも大寸法内部の外周部が弾性材料からなり、その弾性変形による下方開口部の拡大により、上記大寸法内部に対する下方開口部を通じての上記水平方向拡大部の挿入及び離脱を可能とするものである請求項 2、3 又は 4 記載のゴルフボール支持体。

【請求項 6】

上記上部構造部における少なくとも大寸法内部の外周部が弾性材料からなり、その大寸法内部の外周部に、下方開口部に開放した切込部を 1 又は 2 以上有し、その切込部の水平方向間隙が前記外周部の弾性的な変形により拡大して下方開口部の水平方向の寸法が拡大し得るものである請求項 2 乃至 5 の何れかに記載のゴルフボール支持体。

【請求項 7】

全体が弾性材料製である請求項 1 乃至 6 の何れかに記載のゴルフボール支持体。

【請求項 8】

上記ボール支持部が、略上方又は上外方に突起する 3 以上の支持突起を有してなり、それらの支持突起の上にゴルフボールを支持するものであり、前記支持突起は、大寸法内部の外周部の上方に位置する請求項 1 乃至 7 の何れかに記載のゴルフボール支持体。

【書類名】明細書

【発明の名称】ゴルフボール支持体

【技術分野】

【0001】

本発明は、脚体に着脱可能に取り付けられるゴルフボール支持体に関する。

【背景技術】

【0002】

実開平5-86370号公報（特許文献1）には、多数の上方突起が円形に配列され、円形に並んだそれらの先端部上にゴルフボールを支持するボール支持部を備えたゴルフティーが記載されている。この種のゴルフティーは、合成樹脂製であり、全体が一体をなす。また、その形態により、従来の、棒状脚部の上端部が拡径して皿状のボール支持部に形成された単純な形状のゴルフティーに比し、製造コストは高い。そのため、破損した場合、全体を交換する必要がある、比較的費用が嵩む。

【0003】

一方、実用新案出願公告第402号公報（特許文献2）には、軸状の脚部の上端をゴム製のボール支持部の下部に挿脱交換可能なゴルフティが記載されている。また特開2000-189549号公報（特許文献3）には、軸状の脚部の上端をプラスチック製のボール支持部の下部に挿脱交換可能なゴルフティが記載されている。これらのゴルフティは、ボール支持部を交換して使用することができるが、ゴルフボールを支持して打球すると、脚部からボール支持部が離脱してそのボール支持部を紛失することが生じ易い。

【特許文献1】実開平5-86370号公報

【特許文献2】実用新案出願公告第402号公報

【特許文献3】特開2000-189549号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

本発明は、従来技術に存した上記のような課題に鑑み行われたものであって、その目的とするところは、既存のティー等の脚体に対し容易に着脱可能であると共に、ゴルフボールを支持して打球した場合に脚体からボール支持部が離脱することが防止されるゴルフボール支持体を提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0005】

(1) 上記目的を達成する本発明のゴルフボール支持体は、地面に差し込んで自立させる脚部の上方に水平方向拡大部を備えた脚体に着脱可能に取り付けられるゴルフボール支持体であって、ボール支持部を上端部に有し、そのボール支持部の下方に、前記脚体の水平方向拡大部を収容するための大寸法内部を有し、その大寸法内部の下方に、前記脚体における水平方向拡大部よりも下方に位置する下方部を挿通保持してその脚体の下方離脱を防止する小寸法内部を有し、前記大寸法内部の上部に、前記脚体の上方離脱を防止する離脱防止部を有してなり、前記脚体における前記下方部が小寸法内部により保持され、前記水平方向拡大部が前記大寸法内部に収容されて前記離脱防止部により前記脚体の上方離脱が防止された状態で、脚体に取り付けられることを特徴とする。

【0006】

このゴルフボール支持体は、既存のティー等の脚体における水平方向拡大部よりも下方に位置する下方部が小寸法内部に挿通保持されて脚体の下方離脱が防止され、脚体の水平方向拡大部が大寸法内部に収容されて離脱防止部により脚体の上方離脱が防止された状態で、脚体の上部に取り付けられ、ボール支持部上にゴルフボールを支持し得る状態となる。

【0007】

なお、本明細書中の上下位置関係に関する記述は、ゴルフボールの打球のためにゴルフボール支持体を使用する状態、すなわちゴルフボール支持体を脚体に取り付けてその脚体の脚部を地面に差し込んで起立させ、ボール支持部にゴルフボールを支持する状態における上下位置関係を基準とする。

【0008】

(2) また、本発明のゴルフボール支持体は、上記ボール支持部と離脱防止部と大寸法内部を備えた上部構造部と、上記小寸法内部を備えた下方保持部と、それらの上部構造部と下方保持部を上下連結する連結部を有してなり、前記上部構造部における大寸法内部の下方側は、縮小されて下方開口部に形成され、前記小寸法内部は上方開口部を有し、前記上部構造部の下方開口部と前記下方保持部の上方開口部の間に、その下方保持部の小寸法内部に上方開口部から上記脚体の脚部を挿通すると共に、前記上部構造部の下方開口部から大寸法内部に上記脚体の水平方向拡大部を挿入するための側方開放部を有するものとすることができる。

【0009】

この場合、上部構造部の下方開口部と下方保持部の上方開口部の間で側方に開放された側方開放部を介して、下方保持部の上方開口部から小寸法内部に脚体の脚部を挿通すると共に、上部構造部の下方開口部から大寸法内部に脚体の水平方向拡大部を挿入する。これにより、脚体における水平方向拡大部よりも下方に位置する下方部が小寸法内部に挿通保持されて脚体の下方離脱が防止され、脚体の水平方向拡大部が大寸法内部に収容されて離脱防止部により脚体の上方離脱が防止された状態で、ゴルフボール支持体が脚体の上部に取り付けられ、ボール支持部上にゴルフボールを支持し得る状態となる。なお、連結部は複数とすることもできる。例えば略平行状の複数の連結部により上部構造部と下方保持部を上下連結するものとすることができる。より具体的には、例えば上部構造部の下方開口部を挟んで対向する2箇所と下方保持部の上方開口部を挟んで対向する2箇所をそれぞれ連結部により上下連結したものとすることができ、更に1箇所連結部を有するものとすることもできる。何れの場合も、側方開放部は、例えば上部構造部における下方開口部の全周の約5分の3以上にわたるものとすることができる。好ましくは約2分の1以上、より好ましくは約3分の2以上である。

【0010】

このゴルフボール支持体は、上記連結部が、上部構造部における下方開口部の全周の3分の1以下（好ましくは4分の1以下、より好ましくは6分の1以下）の幅の帯状をなし、上部構造部における下方開口部の外側部と下方保持部における上方開口部の外側部を上下に連結するものであり、前記上部構造部の下方開口部と前記下方保持部の上方開口部の間のうち前記連結部以外の部分が上記側方開放部を構成しているものとすることができる。

【0011】

連結部が、大寸法内部における下方開口部の外側部と下方保持部における上方開口部の外側部を上下に連結する帯状をなし、その幅は大寸法内部の下方開口部の全周の3分の1以下であり、上部構造部の下方開口部と下方保持部の上方開口部の間のうち連結部以外の部分が側方開放部を構成している。側方開放部の側方開放の度合いが大きく、連結部が下方開口部と上方開口部を塞ぐことが防がれるため、側方開放部を介して、上方開口部から小寸法内部に脚体の脚部を挿通すると共に下方開口部から大寸法内部に脚体の水平方向拡大部を挿入してゴルフボール支持体を脚体の上部に取り付ける上で好適である。

【0012】

(3) 上記ゴルフボール支持体は、上記連結部が弾性材料からなり、下方保持部の小寸法内部に上方開口部から上記脚体の脚部を挿通する際に連結部を弾性変形させて上部構造部を一時側方へ変位させることができるものとすることができる。

【0013】

連結部を弾性変形させて上部構造部を一時側方へ変位させることにより、側方開放部を側方のみならず上方にも十分に開放させることができる。そのため、側方開放部を介して下方保持部の上方開口部から小寸法内部に脚体の脚部を挿通する際に、上部構造部と下方保持部の間隔、すなわち側方開放部の上下寸法が比較的小さくても、上部構造部に妨げられることを可及的に避けることができ、挿通後は、連結部の変形を復元させて上部構造部の下方開口部から水平方向拡大部を大寸法内部に挿入することができるので、ゴルフボール支持体を脚体の上部に取り付ける上で好適である。

【0014】

なお、側方開放部の上下寸法は、例えば小寸法内部の水平方向寸法の1乃至5倍程度とすることができる。好ましくは1.5乃至3倍程度である。

【0015】

(4) 上記ゴルフボール支持体は、上記上部構造部における少なくとも大寸法内部の外周部が弾性材料からなり、その弾性変形による下方開口部の拡大により、上記大寸法内部に対する下方開口部を通じての上記水平方向拡大部の挿入及び離脱を可能とするものとすることができる。

【0016】

この場合、上部構造部の下方開口部から大寸法内部に脚体の水平方向拡大部を挿入する作業及び下方開口部を通じて水平方向拡大部を離脱させる作業が、大寸法内部の外周部の弾性変形による下方開口部の拡大によって円滑に行われ得、大寸法内部における水平方向拡大部の収容保持が、下方開口部の弾性収縮によって確実に行われるものとなる。

【0017】

(5) また上記ゴルフボール支持体は、上記上部構造部における少なくとも大寸法内部の外周部が弾性材料からなり、その大寸法内部の外周部に、下方開口部に開放した切込部を1又は2以上有し、その切込部の水平方向間隙が前記外周部の弾性的な変形により拡大して下方開口部の水平方向の寸法が拡大し得るものとすることができる。

【0018】

この場合、弾性材料からなる大寸法内部の外周部に設けられた切込部の水平方向間隙が、大寸法内部の外周部の弾性的な変形により拡大し、下方開口部の水平方向の寸法が拡大し得る。そのため、上部構造部の下方開口部から大寸法内部に脚体の水平方向拡大部を挿入する作業及び下方開口部を通じて水平方向拡大部を離脱させる作業が、大寸法内部の外周部の弾性変形による下方開口部の拡大によって円滑に行われ得、大寸法内部における水平方向拡大部の収容保持が、下方開口部を含む大寸法内部の外周部の弾性収縮によって確実に行われるものとなる。

【0019】

(6) 上記ゴルフボール支持体は、全体が弾性材料製であるものとすることができる。

【0020】

(7) また上記ゴルフボール支持体は、ボール支持部が、略上方又は上外方に突起する3以上の支持突起を有してなり、それらの支持突起の上にゴルフボールを支持するものであり、前記支持突起は、大寸法内部の外周部の上方に、大寸法内部の上方部を取り囲むように位置するものとすることができる。

【0021】

この場合、ゴルフボールは、ティー等の脚体の上部に取り付けられたゴルフボール支持体における大寸法内部の上方部を取り囲むように位置する3以上の支持突起上に支持させることができる。

【発明の効果】

【0022】

本発明のゴルフボール支持体は、既存のティー等の脚体に対し容易に着脱可能であると共に、ゴルフボールを支持して打球した場合に脚体からボール支持部が離脱することが防止される。

【発明を実施するための最良の形態】

【0023】

本発明の実施の形態を、図面を参照しつつ説明する。

【0024】

図面は何れも本発明のゴルフボール支持体の実施の形態の例に関するものであって、図1は正面図、図2は平面図、図3は右側面図、図4は底面図、図5は縦断面図、図6は取付過程を示す縦断面図である。

【0025】

このゴルフボール支持体Scは、全体が軟質合成樹脂製（弾性材料製）であり、一体成形により製造されるものであって、二点鎖線で図示するような既存のゴルフティーT（脚体）に着脱可能に取付けることができるものであるが、材料及び取付け対象はこれに限るものではない。

【0026】

前記ゴルフティーTは、下端が円錐尖端状に形成された丸棒状の脚部T1の上端部に、外周部が上方に向かって略漏斗形状に拡張した水平方向拡大部T2を有し、その水平方向拡大部T2の上面が皿状のボール支持凹部に形成された木製ティーである。木製に限るものではないが、打球による紛失時の環境保護上、木製が好ましい。

【0027】

ゴルフボール支持体Scは、上部構造部Uと、下方保持部Lと、それらの上部構造部Uと下方保持部Lを上下連結する連結部Cからなる。

【0028】

上部構造部Uは、ボール支持部210を上端外周部に有し、そのボール支持部210の下方に、上下方向軸線に対し略回転対称状をなす大寸法内部212を有し、その大寸法内部212の上部のうちボール支持部210の内方に、ゴルフティーTの上方離脱を防止する離脱防止部226を有する。離脱防止部226は上方突出の環状をなし、中央部が大寸法内部212から上方に貫通している。上部構造部Uにおける大寸法内部212の下方側は、水平方向の内部寸法が下方に向かって漏斗状に縮小されて下方開口部214が形成されている。

【0029】

大寸法内部212の外周部に、下方開口部214に開放した切込部215を連結部Cから上下方向軸線を中心として両側に90度ずつ離隔した位置にそれぞれ設けられている。

【0030】

ボール支持部210は、大寸法内部212の外周部から略上方に突起する支持突起210aを、上下方向軸線を中心として60度中心角毎の6箇所有してなり、それらの支持突起210aの上にゴルフボールを支持するものである。従って支持突起210aは、大寸法内部212の外周部の上方に、大寸法内部212の上方部を取り囲むように位置している。なお、隣り合う支持突起210a同士の間の中心角は、170度以下とすることができ、90度以下であることが好ましい。より好ましくは60度以下である。

【0031】

下方保持部Lは、下方開口部214から所定上下間隔を隔てた下方において大寸法内部212と同軸状に位置する上下貫通の小寸法内部216を有する。小寸法内部216は、水平方向の内部寸法が大寸法内部212よりも小さく、水平方向拡大部T2が上方に位置する状態で下方の脚部T1を挿通保持し、ゴルフティーTの下方離脱を防止する。

【0032】

連結部Cは、上部構造部Uにおける下方開口部214の全周の8分の1以下の幅の帯状をなし、上部構造部Uにおける下方開口部214の外側部と下方保持部Lにおける小寸法内部216の上方開口部218の外側部を、やや上外方傾斜状に上下に連結し、上部構造部Uと下方保持部Lの位置関係を規定する。

【0033】

上部構造部Uの下方開口部214と下方保持部Lの上方開口部218の間のうち連結部C以外の部分は、下方保持部Lの小寸法内部216に上方開口部218からゴルフティー

Tの脚部T1を挿通すると共に、上部構造部Uの下方開口部214から大寸法内部212に水平方向拡大部T2を挿入するための側方開放部220を構成する。

【0034】

ゴルフボール支持体ScをゴルフティーTに取り付ける場合、図6に示すように連結部Cを弾性変形により屈曲させて上部構造部Uを一時外側方へ変位させる（下方保持部Lを外側方へ変位させるのと同義）。これにより、側方開放部220を側方のみならず上方にも十分に開放させることができる。そのため、側方開放部220を介して下方保持部Lの上方開口部218から小寸法内部216に脚部T1を下向きに挿通する際に、上部構造部Uと下方保持部Lの間隔、すなわち側方開放部220の上下寸法が小寸法内部216の直径の2倍程度と比較的小さくても、上部構造部Uに妨げられることを可及的に避けることができる。

【0035】

脚部T1を小寸法内部216に挿通した後は、連結部Cの変形を復元させて上部構造部Uの下方開口部214から水平方向拡大部T2を大寸法内部212に挿入することができる。その際、上部構造部Uにおける大寸法内部212の外周部に設けられた切込部215の水平方向間隙が、大寸法内部212の外周部の弾性的な変形により拡大し、下方開口部214の水平方向の寸法が拡大するため、水平方向拡大部T2を大寸法内部212に挿入する作業が円滑に行われ、大寸法内部212における水平方向拡大部T2の収容保持が、下方開口部214を含む大寸法内部212の外周部の弾性収縮によって確実に行われる。

【0036】

この状態において、ゴルフティーTにおける脚部T1の上部及び水平方向拡大部T2は、それぞれゴルフボール支持体Scにおける小寸法内部216に挿通保持されると共に大寸法内部212に収容保持され、水平方向拡大部T2よりも小径の小寸法内部216によりゴルフティーTの下方離脱が防止されると共に、大寸法内部212の上部に有する離脱防止部226が水平方向拡大部T2の上面の上側に位置して水平方向拡大部T2の上方離脱が防止された状態となる。このようにして、ゴルフボール支持体ScがゴルフティーTの上部に取り付けられ、支持突起210a上にゴルフボールを支持し得る状態となる。

【0037】

ゴルフボール支持体ScがゴルフティーTの上部に取り付けられた状態において、図6に示すように連結部Cを弾性変形により屈曲させて上部構造部Uを一時外側方へ変位させれば、切込部215の水平方向間隙が大寸法内部212の外周部の弾性的な変形により拡大し、下方開口部214の水平方向の寸法が拡大するため、水平方向拡大部T2を大寸法内部212から離脱させる作業が円滑に行われる。これにより、側方開放部220を側方のみならず上方にも十分に開放させることができるので、側方開放部220を介して下方保持部Lの小寸法内部216から脚部T1を上向きに離脱させてゴルフボール支持体ScをゴルフティーTから取り外すことができる。

【図面の簡単な説明】

【0038】

- 【図1】 正面図である。
- 【図2】 平面図である。
- 【図3】 右側面図である。
- 【図4】 底面図である。
- 【図5】 縦断面図である。
- 【図6】 取付過程を示す縦断面図である。

【符号の説明】

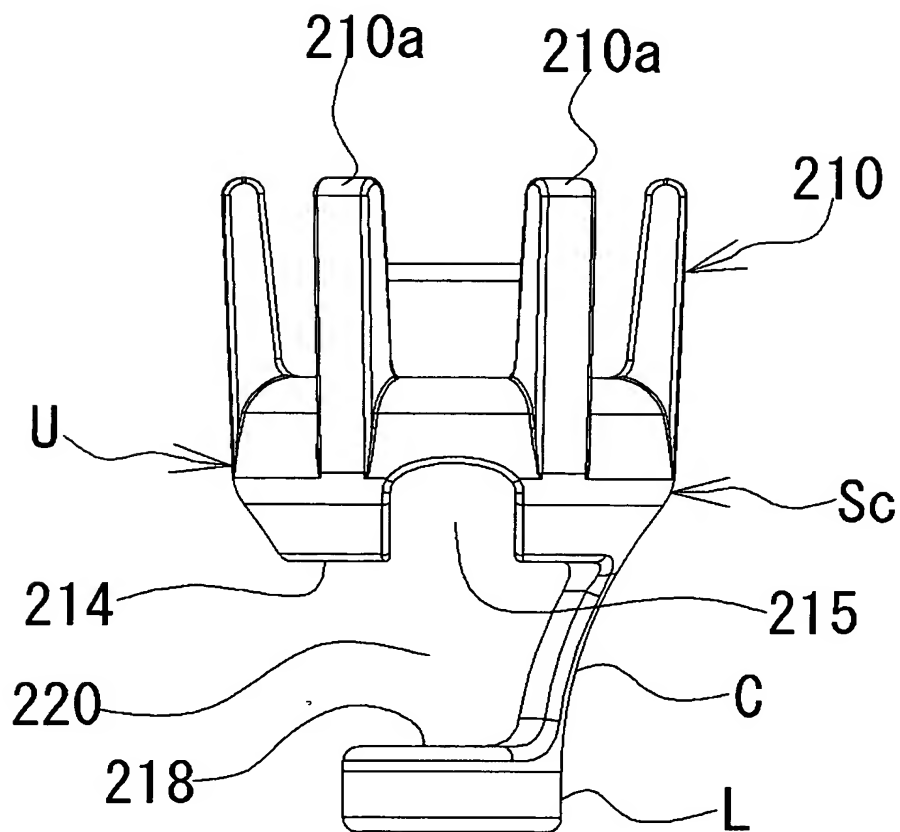
【0039】

- 210 ボール支持部
- 210a 支持突起
- 212 大寸法内部
- 214 下方開口部

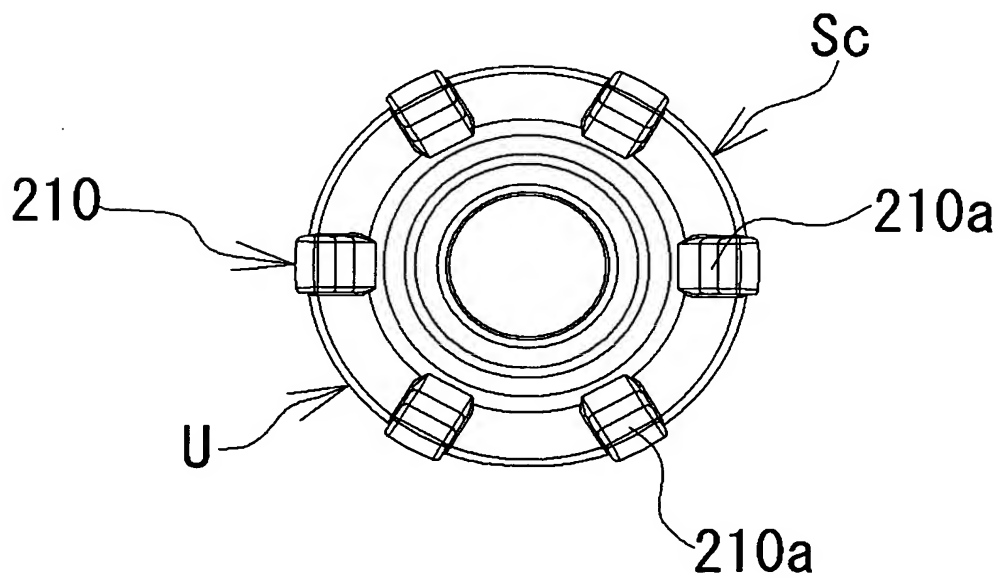
2 1 5	切込部
2 1 6	小寸法内部
2 1 8	上方開口部
2 2 0	側方開放部
2 2 6	離脱防止部
C	連結部
L	下方保持部
S c	ゴルフボール支持体
T	ゴルフティー
T 1	脚部
T 2	水平方向拡大部
U	上部構造部

【書類名】図面

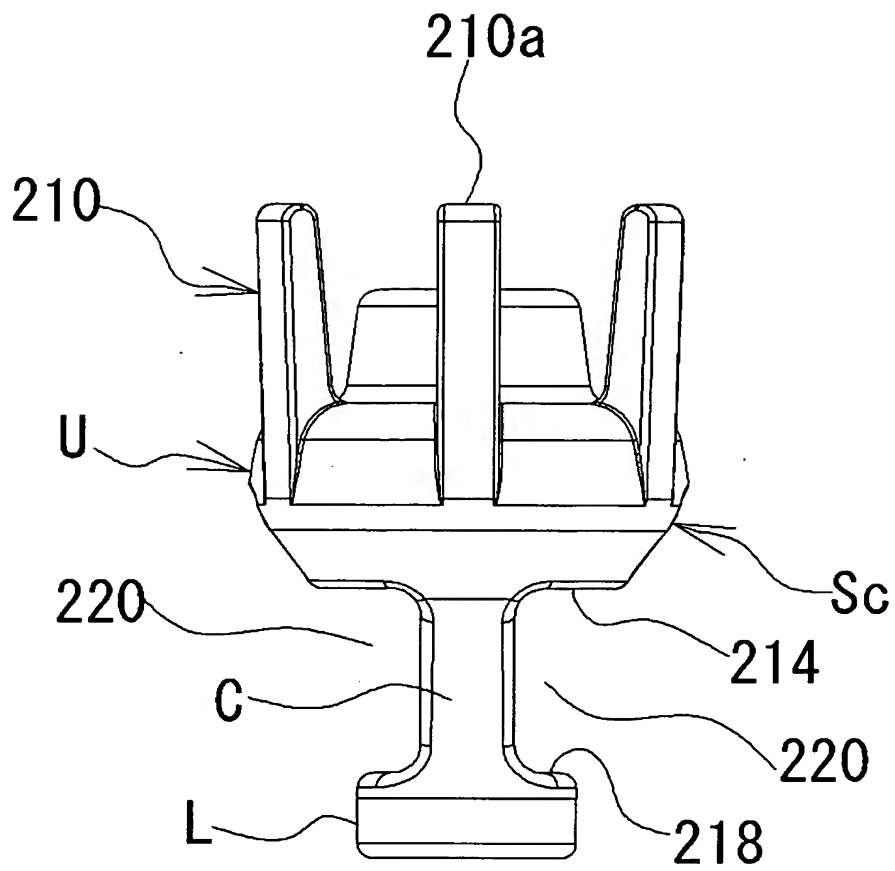
【図 1】



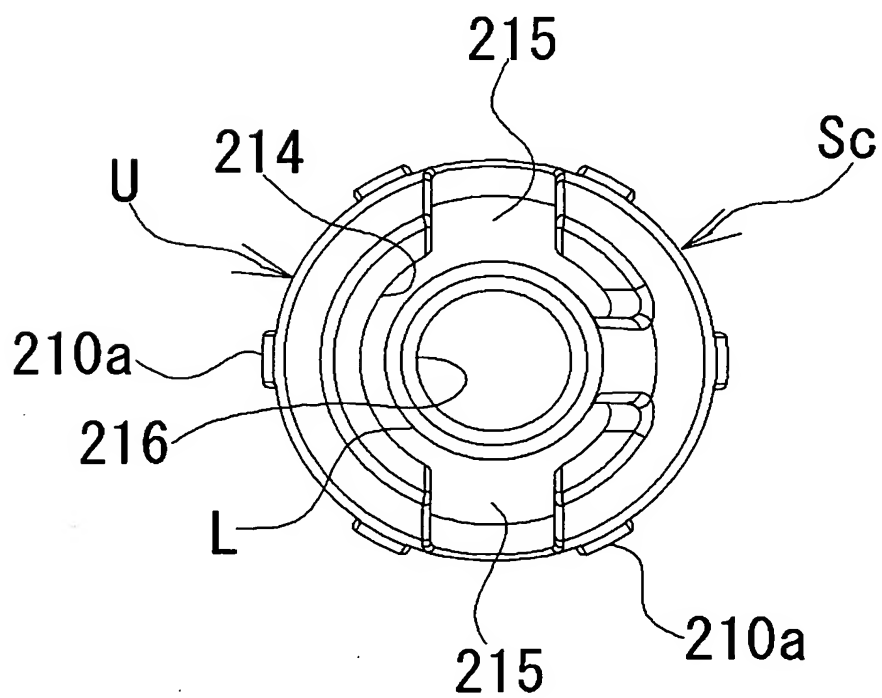
【図 2】



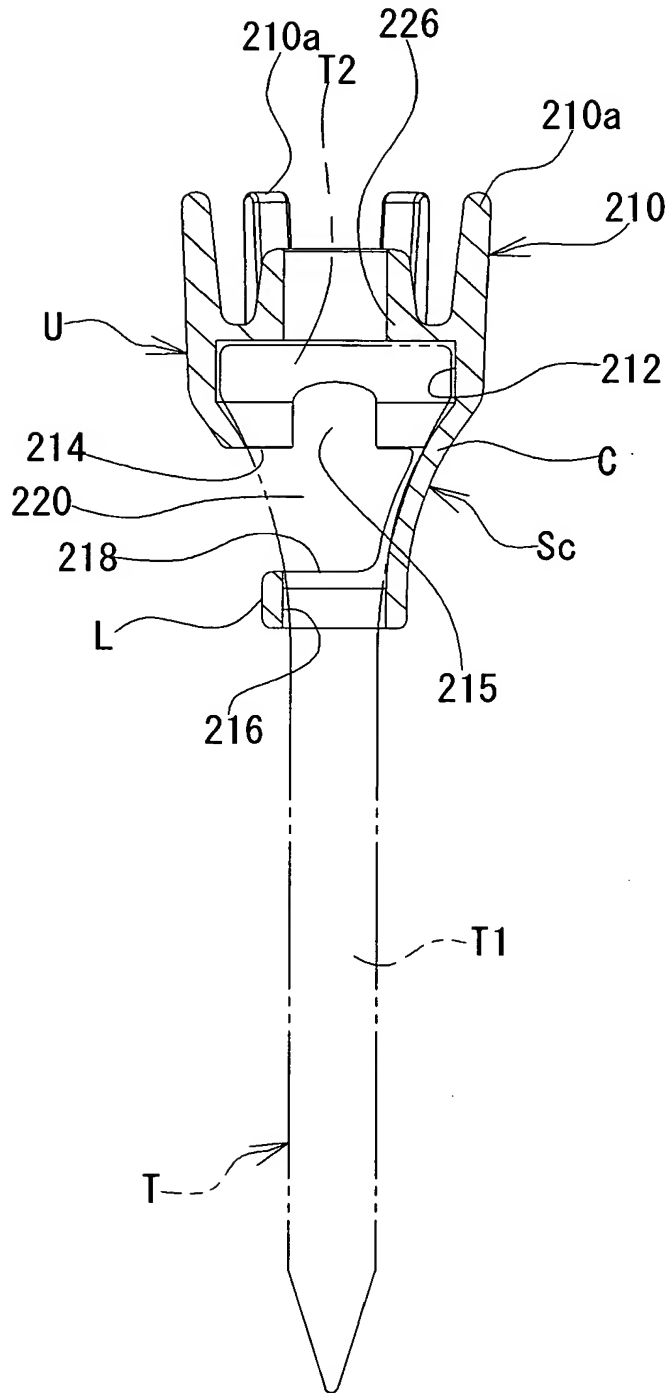
【図 3】



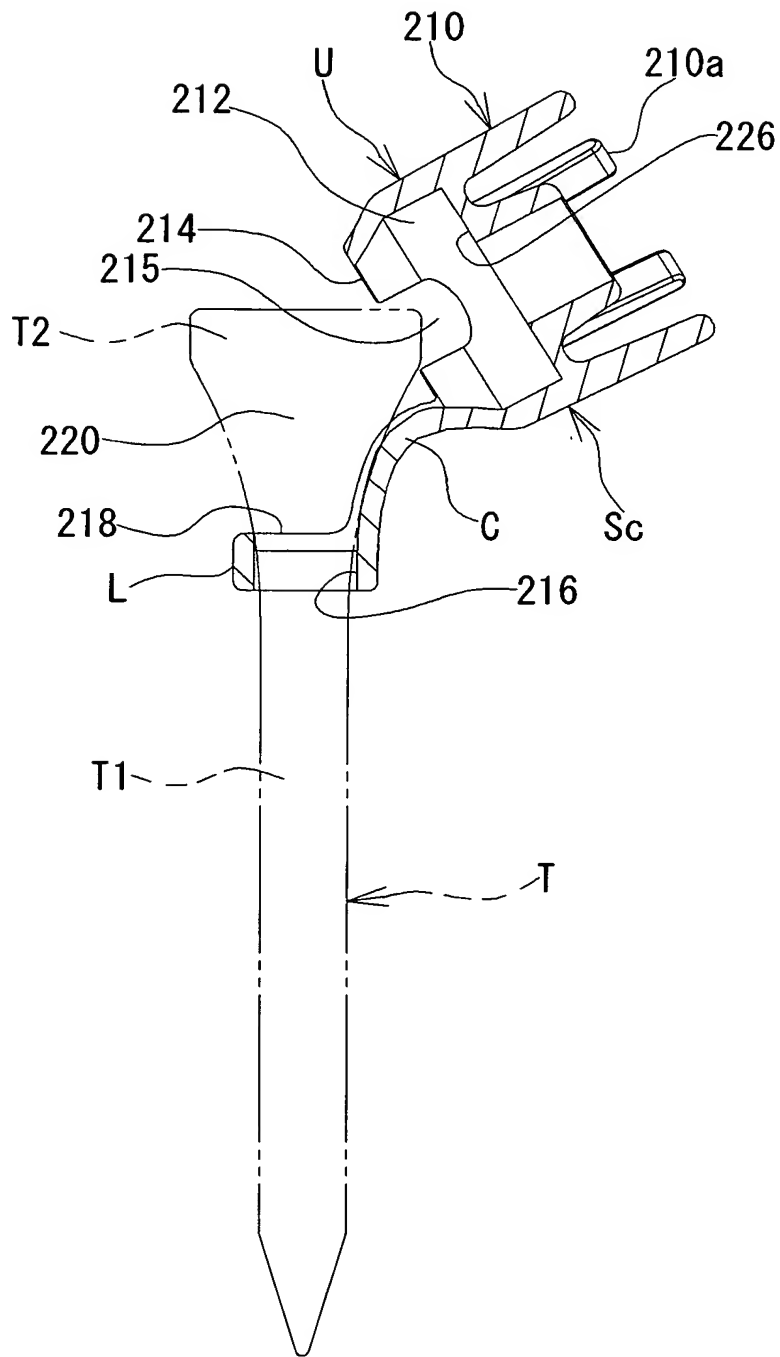
【図 4】



【図 5】



【図 6】



【書類名】 要約書**【要約】**

【課題】 ティー等の脚体に容易に着脱し得、ゴルフボールを支持して打球した際の脚体からのボール支持部の離脱を防ぐ。

【解決手段】 全体を弾性材料で構成し、ボール支持部 2 1 0 ・離脱防止部 2 2 6 ・大寸法内部 2 1 2 ・下方縮小の下方開口部 2 1 4 を有する上部構造部 U と、小寸法内部 2 1 6 を有する下方保持部 L を連結部 C で連結する。上部構造部 U と下方保持部 L の間のうち連結部 C 以外の部分は側方開放部 2 2 0 を構成する。連結部 C を弾性変形により屈曲させて上部構造部 U を外側方へ変位させることにより、側方開放部 2 2 0 を側方のみならず上方にも十分開放させる。側方開放部 2 2 0 を介して上方開口部 2 1 8 から小寸法内部 2 1 6 に脚部 T 1 を下向きに挿通し、連結部 C を復元させて下方開口部 2 1 4 から水平方向拡大部 T 2 を大寸法内部 2 1 2 に挿入して、ゴルフボール支持体 S c をゴルフティー T に取り付け得る。

【選択図】 図 5

特願 2 0 0 3 - 4 2 3 0 7 1

出 願 人 履 歷 情 報

識別番号

[5 9 2 0 3 6 2 7 6]

1. 変更年月日

1 9 9 1 年 1 1 月 3 0 日

[変更理由]

新規登録

住 所

大阪府豊中市寺内 1 - 4 - 2 8

氏 名

井尻 保宏

2. 変更年月日

1 9 9 3 年 8 月 2 7 日

[変更理由]

住所変更

住 所

大阪府豊中市寺内 1 - 4 - 2 8 - 2 0 3

氏 名

井尻 保宏